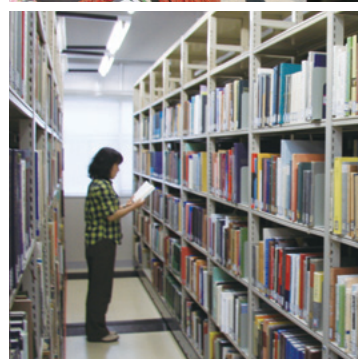


京都大学教育学部案内



京都大学教育学部

京都大学教育学部とは

教育とは何か？ 心はどのように動くものなのか？ 教育にかかわる社会の仕組みはどうなっているのか？
どうすれば、よりよい教育を実現できるのか？

——そんな「問い」を抱いている皆さん、京都大学教育学部で学んでみませんか。

教育学部は、「教育」と「心・人間・社会」にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なもののへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育をおこなっています。



1学年60人定員※、大きな京大でもっとも少人数の学部

※3年次編入制度(定員10人)があります。

特徴

教育に関する事象を多角的に研究

思想と歴史、方法、制度と社会、人間の心理と発達、学ぶことと教えることなどの原理を探究しています。

多様な教育のフィールドでの実践研究

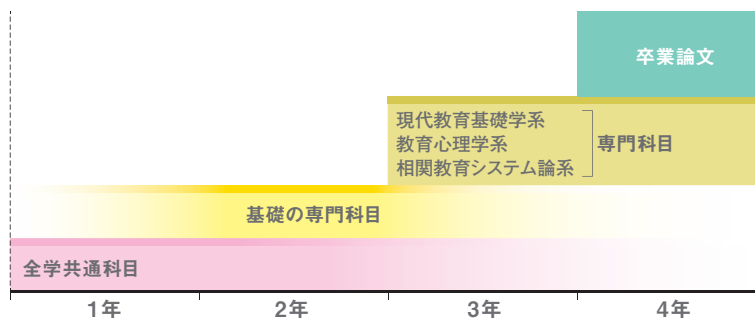
学校教育はもとより、地域、家庭、職場など人が育っていくあらゆる場面を「人間形成」の場として探究します。

グローバル市民を育てる教育

外国人教員による授業のほか、海外の大学との豊富な交流の機会があります。

京都大学教育学部で学ぶこと

1-2年生で全学共通科目と基礎の専門科目を学び、3-4年生では3つの系に分かれて専門科目を学びます。
4年生では全員が卒業論文に取り組みます。



現代教育基礎学系

学校のあり方に関心がある人、カリキュラムや授業・評価の開発をめざす人、胎児期からの心の発達や障害に関心をもつ人、教育の問題を歴史的に研究する人、哲学的に深く考える人。そうした人たちが学ぶ系です。

教育哲学・教育史学

何のために教育は必要か、どんな学校が望ましいかなど、教育に潜む様々な問題を哲学や歴史学の観点から分析します。学校教育制度や教育に対する考え方の歴史的成立過程、また時代による変遷などについて探究し、新たな学習や教育の姿を提示するための知識や方法論が身につきます。

教育方法学・発達科学

カリキュラム・授業・評価に関する理論と実践の蓄積に学び、人間の心身の発達を文理融合領域である発達科学にもとづき解明することで、真に適切で有効な教育方法を提案することをめざしています。フィールドワークに重きを置いた活動が特徴の一つです。

教育人間学・臨床教育学

芸術、身体、言語など人間学の多様なテーマについて、主として思想研究の方法で研究します。それを通して、言葉に対する感受性を育て、フィールドの中で考える力を身につけることをめざしています。



教育心理学系

教育心理学系では、心の仕組みとはたらきについての幅広い識見と柔軟な思考力の育成を基本としつつ、教育・認知心理学、臨床心理学を中心に充実したカリキュラムが組まれ、他学部等の心理学系教室・教員とも連携して活発な教育・研究活動がおこなわれています。

教育・認知心理学

記憶、言語、推論、意思決定、知能、他者理解、共感、社会的認知といった高次認知過程の諸側面に関する主要な理論や知見を学習し、さらに、それらの発達の特徴、教授・学習法、動機づけ、メディアやコンピュータを活用した教育など、教育活動に密接にかかわる心理学的諸側面に関する知識の習得とその応用をめざしています。また、心理実験・調査やデータ解析等の方法を身につけ、心理学の研究を進めることができますようにします。

臨床心理学

心に関する対人支援をおこなう専門的知識と技能を身につけるため、自己理解を深めつつ、心理面接や遊戯療法などの心理療法、心理査定技法や調査の方法、描画や箱庭などのイメージ表現の理解の仕方等を学びます。こうした専門的な知識と技能は、卒業後に社会で活かされるばかりでなく、修士課程に進学し臨床心理士の資格を取得することにつながります。



関連教育システム論系

21世紀は単に学校だけが教育にかかわるのではなく、社会全体が人間形成社会になり、そうした社会での教育の柔軟なありかた、ネットワーク化が課題になります。

関連教育システム論系は、こうした方向を視野に入れて、教育と社会との結びつきを創造的に探究することを目的にしています。

学部教育においては、これからの社会と人間に求められる重要な課題を意識したカリキュラムを提供し、特に少人数のゼミや講義に特徴があります。

教育社会学

人間の社会形成にかかわる集団の教育作用について研究するとともに、学歴社会、青少年問題、教育変動などの諸問題を社会学的観点から考察する力を養います。

生涯教育学

学校教育を超えて、広く人間社会における教育と文化を分析する視点と方法を学びます。具体的には生涯教育、図書館情報、メディア文化の諸問題を考え、生涯教育では学習と実践を重視します。

比較教育学・教育政策学

各国の教育制度、政策、実践、理論などを理解する国際的な視野と考え方を学ぶとともに、政策科学的な観点から教育の行財政制度と具体的な政策立案について学びます。





教育学部 入試情報(平成28年度)

一般入試

- ① 募集人員 文系44名、理系10名
- ② 選考方法 ●大学入試センター試験(募集人員の約3.5倍で第一次段階選抜)
●個別学力検査

文系と理系とで、試験科目と配点が異なります。

文系 ・「地歴・公民」からセンター試験で2科目、個別学力検査で「地歴」1科目選択(個別学力検査の「国語」の配点高)

理系 ・「理科」からセンター試験で2科目、個別学力検査で1科目選択(個別学力検査の「数学」の配点高)

特色入試

- ① 募集人員 6名
- ② 出願資格 次のいずれかに該当する者
1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者
- 志願者は次のすべての要件を満たすこととします。
1. 本学教育学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約できる者
 2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者
 3. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

- ③ 選考方法 特色入試は、第1次選考 → 第2次選考 → 大学入試センター試験という3つの段階があります。

④ 日程

出願受付	第1次選考結果発表	第2次選考	第2次選考結果発表	大学入試センター試験	合格発表	入学手続
H27.10.5～9	H27.11.6	H27.11.28～29	H27.12.15	H28.1.16～17	H28.2.10	H28.2.16

第1次選考

提出書類にもとづいて選考

学びの報告書

志望者自身が、現在までに取り組んだ「学び」の活動の成果や意義を記述したもの

- ① 中学時代から現在までに取り組んだ「学び」の活動(各教科での学習や総合的な学習の時間、読書、課外活動、学校行事での活動、ボランティア活動等)のうち、主なものを時間の経過に沿って記述してください(証明する資料を添付)。
- ② 取得した資格や各種の検定の成績がある場合は、その最高の等級や得点を列挙してください(証明書等(英検・TOEFL・TOEIC等の成績証明書、各種資格取得証明書等)がある場合は添付)。
- ③ ①にあげた活動の中で最も重点を置いた3つの活動について、その名称や種別、具体的内容、関与の程度(1回の活動時間、週当たり日数、継続時間等)あなた自身がその活動で生み出した成果やあなた自身にとっての意義を記述してください。

学びの設計書

教育学部に入学したら、どんなことを探究したいかを、志望者が自分自身で記入したもの

- ① 教育学部へ入学を希望する理由を書いてください。
- ② 大学生活において何を目標にし、どのように学びたいか、具体的に設計してその内容を書いてください。
- ③ 大学卒業後、大学で学んだことをどのように活かしたいか、具体的に書いてください。

第2次選考

課題と口頭試問にもとづいて選考

課題では、読解力、論理的・批判的思考力、問題解決能力などについて評価します。また、口頭試問では、探究力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。

第2次選考における配点

試験の区分	課題	口頭試問	合計
配点	100	100	200

最終選考

第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中80%以上の者を合格者としています。



京都大学教育学部の特色入試

京都大学は、高等学校までの幅広い学びを重視した特色入試を、
平成28年度からはじめます。

特色入試で教育学部が求める人物像

過去

これまで、どのような経験を通して、
どのような成果を得てきたか

教科の学習および総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、
テーマを設定して探究活動をおこない、
卓越した学力を身につけ、成果をあげた者

あるいは

学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、
深い洞察を得ている者

現在

どのような能力を現在もっているか

人間と社会、教育や心理について関心をもち、
論理的・批判的に思考し、
問題を解決する能力とコミュニケーション能力をもつ者

未来

未来に対する志

将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、
社会に貢献する志をもつ者

「パフォーマンス評価」を重視

教育学部の特色入試での選抜方法は、受験生の個人の学びの履歴とともに、そこから具体的に
どのような力を得て発揮できるかを、「パフォーマンス評価」を重視したタイプの入試で問います。

パフォーマンス評価とは、知識やスキルを活用・応用・総合する力をみるために、学習の成果物や
それにかかわる活動を評価する方法のことです。

本学部の特色入試の場合、「学びの報告書」とそこに添付されている資料、「学びの設計書」、
ならびに第2次選考の際の口頭試問や課題への対応を見ることを通して、パフォーマンス評価を
おこなうことを予定しています（人目をひく演技といった意味での「パフォーマンス」を求めるものではありません）。

在校生の声 (3年生 男子)

「教育」と言われると学校をイメージする方も多いと思いますが、この京都大学教育学部では単に学校教育だけにとどまらず、人間形成に関連のある人間の営みすべてを研究の対象としており、実際に「人間好き」という方々が多く集まります。

その営みの中でも何に対して興味関心を抱いているかは人によって様々であり、そんな彼らと質の高い交流や議論を行うことができる環境に身を置いていることで自分自身の視野が広がっていることを日々実感しています。

また、1学年たった60人ということもあって非常にアットホームな空間が形成されており、同学年はもちろん、先輩や後輩、さらには院生やOBの方々と強いつながりがあり、他学部の方から羨ましがられることもよくあります。

卒業生の声 (2013年 関連教育システム論系卒業 男子 広告代理店勤務)

教育学部って、何をするとところでしょうか。

もちろん、教育や人間に関わる多様な学問に触れられます。お祭りだってやっちゃいます。しかしそれ以上に、日々身近に「人」や「人の活動」に触れる中で、自分や自分の生き方を見つめ直し続けられること。それが私の大きな財産になっていると感じます。本を読んだり、テストの勉強をしたりするだけではありません。出身地も経歴も、性格も異なる学部の仲間と毎日の生活から特別な時間までを共有することで、多様でリアルな価値観や知識をじっくり吸収することができるのです。

いま、私はCMや新聞などの広告の仕事をしていますが、情報や考え方が溢れる時代に、人と人・人とモノ・モノとモノの新たなコミュニケーションを生みだすため、日々努力中です。

教育学部にあるたくさんのお宝を、探しに来てみてはいかがでしょうか。

卒業後の進路

教育学部の平成25年度卒業生は63名で、そのうち33名(約52%)が就職しています。そのなかには教育(学校)関係に就職し、教師等になった人もいます。また、24名(約38%)が教育学研究科をはじめとする大学院に進学しています。残りの6名(約10%)は進学準備や就職準備となっています。

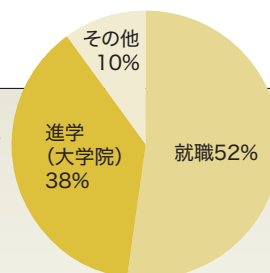
過去5年間の主な進路

就職

公務員(法務省、厚生労働省、家庭裁判所、航空管制官、愛知県、石川県、大阪府、高知県、三重県、横浜市、岡山市ほか)/中学・高校教員(大阪府、香川県、京都市、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県ほか公立学校、私立学校)/住友化学、アサヒビール、キリンビール、サントリー、ニトリ、三菱重工業、三菱マテリアル、任天堂、ハウス食品、パナソニック、ヤマハ、ライオン、ローソン、P&G/九州電力、中部電力、北陸電力、大阪ガス/中日新聞社、日刊スポーツ新聞社、フジテレビジョン、テレビ愛媛、電通、博報堂/西日本電信電話、サイバーエージェント、楽天/数研出版、PHP研究所/JR各社、阪急、日本旅行/住友商事、住友林業、大丸松坂屋、西松屋、ミキハウス/みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行、京都銀行、紀陽銀行、滋賀銀行、百十四銀行、広島銀行、住友生命保険、東京海上日動火災保険、日本政策金融公庫/新日本有限責任監査法人、デロイト・トーマツ・コンサルティング、日本総合研究所、野村総合研究所、NTTラーニングシステムズ、富士通ラーニングメディア、ユーキャン/河合塾、駿河台学園、ベネッセ、Z会/各社会福祉法人

進学

京都大学大学院(教育学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、人間・環境学研究科、文学研究科、法科大学院)、筑波大学大学院人間総合科学研究科、東京大学大学院(教育学研究科、公共政策大学院、人文社会系研究科)、鳴門教育大学大学院、花園大学大学院社会福祉学研究科、早稲田大学人間科学研究科、岡山大学医学部



教育学部で取得可能な主な資格

本学部の修学期間内に教育職員免許法に定められた科目の必要単位を修得し所定の手続きをすれば、**教育職員免許状の中学校1種、高等学校1種**免許状を取得することができます。また、中学校、高等学校の免許状を取得し、免許法に規定する特別支援教育領域に関する科目の単位を修得すれば、**特別支援学校教諭1種**免許状を取得することができます。本学で取得できる免許状は、聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者に関する教育の領域です。

その他、修学期間中に法律に定める科目の必要単位を修得すれば、それぞれ社会教育に関する指導・助言を与える**社会教育主事**、博物館の資料収集、保管展示及び調査研究などの仕事に携わる**学芸員**、図書館法に規定している図書館において図書に関する職務に携わる**図書館司書**の資格を取得することができます。また、教育職員免許状を有する者が図書館学に関する科目の必要単位を修得すれば、**学校図書館司書教諭**の資格を取得することができます。

入試関連の事項は現時点での予定であり、若干変更する可能性があります。

「平成28年度京都大学特色入試選抜要項」は平成27年6月上旬から、出願書類を含む「平成28年度京都大学特色入試学生募集要項」は平成27年7月上旬から配布予定です。

一般入試における入学者選抜に関する概要を記載した「平成28年度入学者選抜要項」は平成27年7月下旬から、出願書類を含む「平成28年度学生募集要項」は平成27年12月中旬から配布予定です。

出願にあたっては、必ず募集要項で確認してください。



京都大学教育学部

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL.075-753-3010 FAX.075-753-3025

URL <http://www.educ.kyoto-u.ac.jp> (教育学部)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/> (京都大学入試関連情報)

(平成27年3月発行)